

島田市地域公共交通活性化再生協議会

平成22年3月18日設置



概要

少子高齢化、核家族化の一層の進行により、過疎地域の指定を受ける北部山間地等において、バス交通を中心とする公共交通のニーズが高まることから、女性や高齢者を中心とする交通不便者の生活交通を維持・確保していく必要がある。そこで、合併前の旧市町の枠にとらわれず、市全域の公共交通体系を構築し、自主運行バスの利用促進及び財政負担軽減の取り組みを進めるため、利用者ニーズ及び各地域の特性を踏まえた効果的で効率の良いネットワーク構築を目指している。

○地域公共交通の現況

バス交通は、利用者の減少による路線バス事業者の収支悪化の影響で、路線退出が進み、平成14年度の6路線から、現在は2路線まで減少。

この間、廃止代替目的の自主運行路線の開設が続き、2度の合併を経た現在、委託運行・欠損補助を合わせて平成14年度の7路線から、現在は18路線まで増加。

○地域公共交通の課題

- 合併後の新市の公共交通体系の構築
- 自主運行バスの利用促進
- バス路線維持に係る市の財政負担増加

○調査の主な内容

- 地域及び交通の特性調査
(居住分布、既存交通利用状況、パーソントリップ等)
- 公共交通利用者ニーズ調査
(利用者インタビュー、地区懇談会、アンケート等)

○地域公共交通総合連携計画の策定

調査結果を踏まえ、協議会の議論を経て、地域関係者の合意のもと、目指す公共交通の姿、目標設定、活性化のための具体的事業を規定する。

